brother

かんたん設置ガイド
ネットワーク編

DCP-9010CN
MFC-9120CN

本製品をネットワークに接続してご使用になるための手順を説明しています。
必ず「かんたん設置ガイド 基本編」をお読みになり、本製品を使用可能な状態にしてから本書をお読みください。

STEP1

本製品の準備をする

⇒「かんたん設置ガイド 基本編」を参照

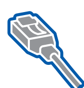
ドラムユニットなどを取り付けて、本製品を使用可能な状態にします。



STEP2

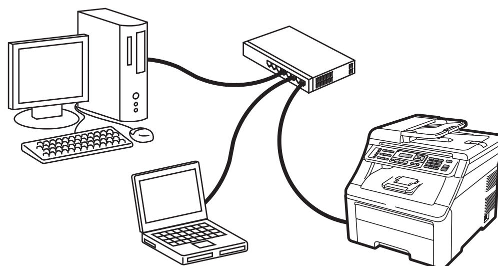
接続方法の確認・準備（本書）

本製品を有線LANでコンピュータに接続します。
USBで接続する場合は「かんたん設置ガイド 基本編」をご覧ください。



有線LAN接続

LANケーブルを使ってネットワーク環境に接続できます。

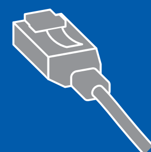


本書では、本製品のイラストおよびインストール手順の説明画面に例としてMFC-9120CNを使用しています。

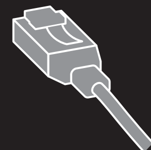
ネットワーク設定の確認と初期化 ………… P.11
困ったときは（トラブル対処方法） ………… P.16
付録（用語集/仕様） ………………………… P.22

本書は製品の近くに置いてご活用ください。

有線LAN接続



Windows®



Macintosh

設定の確認とネットワークユーティリティ

困ったときは
トラブル対処方法

付　録

Version 0 JPN

有線LAN接続の準備をする

パーソナルファイアウォールやセキュリティソフトウェアをお使いの場合の注意事項

パーソナルファイアウォールやセキュリティソフトウェアのファイアウォール機能をお使いの場合は、インストールの前に、ファイアウォールを一時無効にしてください。

注意

ドライバのインストール終了後、ファイアウォールを有効に戻すと、ネットワークスキャンなどの一部の機能が利用できなくなります。これらの機能を使用する場合は、ファイアウォールの設定を変更してください。

補足

パーソナルファイアウォールやウィルス対策ソフトなどをお使いの場合、設定を変更する方法については、お使いのソフトウェアの取扱説明書、ヘルプをご覧いただくか、ソフトウェアの提供元にご相談ください。

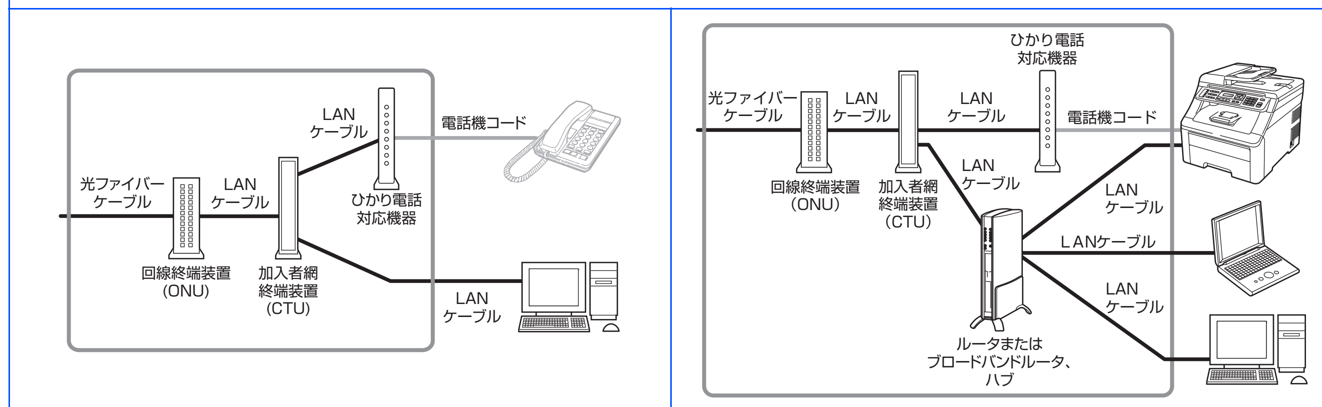
ネットワーク環境で複数のコンピュータから使用する場合

ADSLや光ファイバー、ケーブルテレビ（CATV）などのインターネット環境で、複数のコンピュータを使用している場合は、本製品を LAN ケーブルで接続すると、どのコンピュータからも本製品をプリンタ、スキャナとして利用することができます。

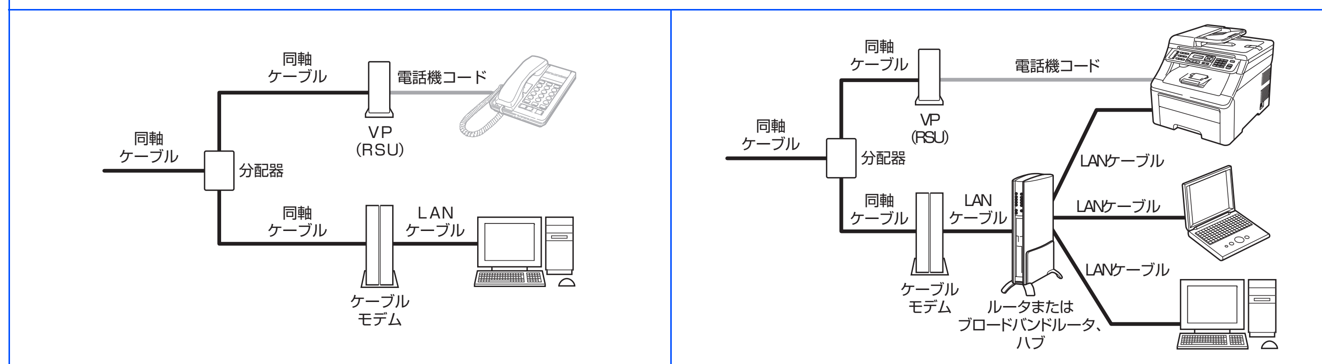
本製品を接続する前	本製品を接続した後
●一般的なADSL環境での接続例	
公衆回線（アナログ） スプリッタ 電話機コード LANケーブル ADSLモデム ※ お使いの機器によっては、□内の機器が一体型になっているものがあります。	公衆回線（アナログ） スプリッタ 電話機コード LANケーブル LANケーブル LANケーブル ADSLモデム ルータまたはブロードバンドルータ、ハブ
●光ファイバー環境での接続例①	
電話機コード 光ファイバーケーブル LANケーブル ONU（回線終端装置） ひかり電話対応機器 LANケーブル	電話機コード LANケーブル LANケーブル LANケーブル 光ファイバーケーブル LANケーブル ONU（回線終端装置） ひかり電話対応機器

本製品を接続する前	本製品を接続した後

●光ファイバー環境での接続例②



●一般的なCATV環境での接続例（J:COMなどのケーブルテレビ局）



補足

ネットワーク環境で使用する主な機器の説明

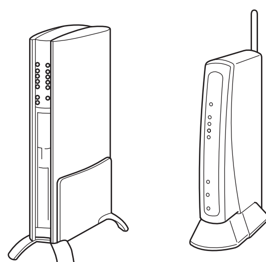
- スプリッタ
  電話（音声）信号とADSL 信号を分離するものです。
- ADSL モデム
  ADSL 信号をネットワーク環境で使用するイーサネットの信号に変換する装置です。
- ONU（回線終端装置）
  光の信号をネットワーク環境で使用するイーサネットの信号に変換する装置です。
- CTU（加入者網終端装置）
  NTT 西日本のひかり回線を終端し、通信に必要な情報を設定する装置です。ルータ、ハブ、コンピュータ、ひかり電話対応機器などはこの装置に接続します。
- ひかり電話対応機器
  今お使いの電話機（アナログ電話機）やファクシミリを接続する装置です。
- ルータまたはブロードバンドルータ、ハブ
  ネットワーク環境で複数のコンピュータなどの機器を接続するときに使用します。
- VP（RSU）
  ボイスポートまたはリモートサービスユニットと呼ばれ、ケーブルテレビ局が固定電話サービスを行うための装置です。
- ケーブルモデム
  同軸ケーブルを流れる信号をネットワーク環境で使用するイーサネットの信号に変換する装置です。

※ご契約されている会社やお住まいの環境により接続する機器が異なる場合があります。

ネットワーク環境に必要なものの準備

1 ルータまたはブロードバンドルータ

ADSLやCATV、光ファイバー（FTTH）などのインターネット網と、家庭・オフィスのLAN（内部ネットワーク）を中継する機器で一般にルーティング機能やファイアウォール機能、DHCP 機能を持っています。複数台のコンピュータから同時にインターネットに接続することができるようになります。

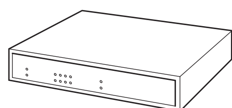


注意

ADSLモデム、またはひかり電話対応機器（ルータ機能付）の環境に無線LAN ルータなどを追加接続している場合は、追加のルータのDHCP機能などをOFFにしてください。詳しくは、お使いのルータの取扱説明書をご覧ください。

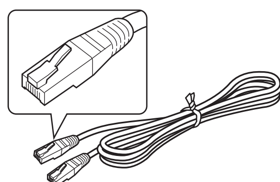
2 ハブ

ネットワーク回線に複数のネットワーク機器を接続する機器です。ファイアウォール機能、DHCP機能は持っていません。



3 LANケーブル

本製品とルータまたはブロードバンドルータを接続するのに必要です。カテゴリ 5 以上の 10BASE-T または 100BASE-TX ストレートケーブルをお使いください。



補足

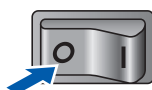
- LANケーブルは、同梱されていません。
- ルータまたはブロードバンドルータの導入・接続方法については、お使いのルータの取扱説明書をご覧ください。
- モデム・ONU（回線終端装置）などの機器に関するご質問は、提供メーカーにお問い合わせください。
- 光ファイバーをご利用の場合は、ご契約されている会社やお住まいの環境により接続する機器が異なる場合があります。

ドライバのインストール

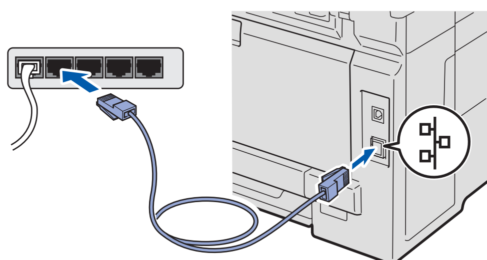
Windows®の場合

起動しているアプリケーションがある場合は、すべて終了してからインストールを始めてください。
Macintoshの場合は、「Macintoshの場合」P.9を参照してください。

1 本製品の電源スイッチをOFFにする



2 本製品とルータ、またはブロードバンドルータをLANケーブルで接続する



3 本製品の電源スイッチをONにする

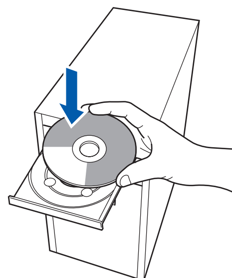


4 コンピュータの電源を入れる

アドミニストレータ（Administrator）権限でログオンします。

5 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

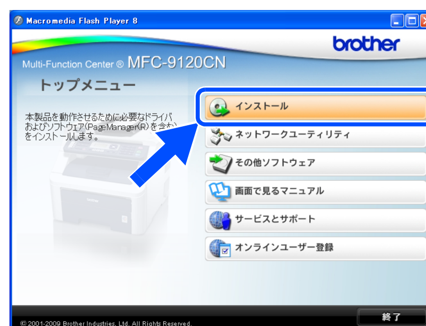
メイン画面が表示されます。



補足

画面が表示されないときは［マイコンピュータ］からCD-ROMドライブをダブルクリックし、［Start.exe］をダブルクリックして画面を表示させてください。

6 ［インストール］をクリックする

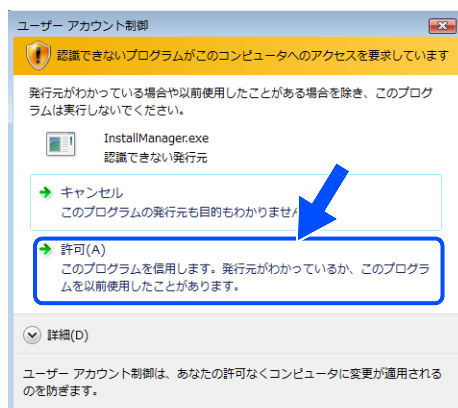


7 ［インストール］をクリックする

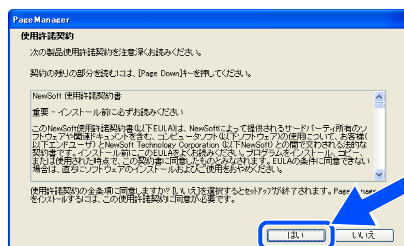


☞次ページへ続く

Windows Vista® で「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、［許可］を選択します。

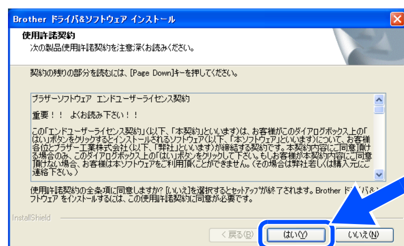


8 Presto! PageManager の使用許諾契約の内容を確認して、［はい］をクリックする

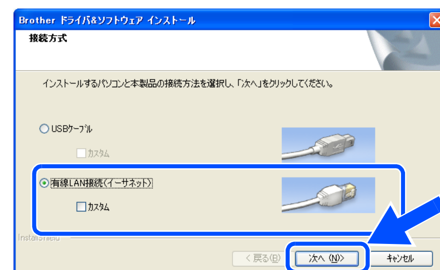


- 画像ビューワーソフト「Presto! PageManager」がインストールされます。
- Presto! PageManager のインストールが終わると、続いてドライバとソフトウェアのインストールが始まります。

9 使用許諾契約の内容を確認し、［はい］をクリックする

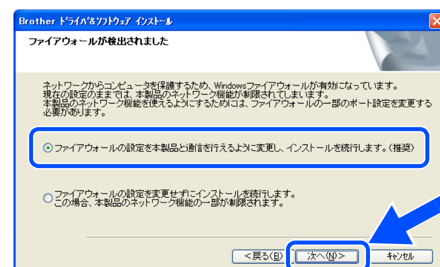


10 ［有線LAN接続（イーサネット)］を選択し、［次へ］をクリックする



市販のセキュリティソフトでパーソナルファイアウォール機能が有効に設定されていると、インストール中にセキュリティの許可を促す画面が表示されることがあります。この場合は許可をしてください。

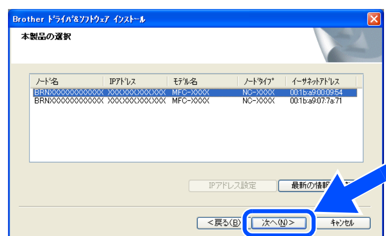
11 Windows® XP SP2 以降 /XP Professional x64 Edition/Windows Vista® をお使いの方で、以下のスクリーンが表示されたら、［ファイアウォールの設定を本製品と通信を行えるように変更し、インストールを続行します］を選択し、［次へ］をクリックする



パーソナルファイアウォールやウィルス対策ソフトのファイアウォール機能を使用している方は、以下のネットワークポートを追加してください。追加方法については、お使いのファイアウォールソフトの取扱説明書をご覧ください。

- ネットワークスキャン：UDPポート 54925
- ネットワークPCファクス受信（MFC-9120CNのみ）：UDPポート 54926
- これらを追加してもネットワーク接続の問題が解決しない場合：UDPポート 137

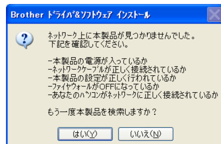
12 リストから使用する機器を選択して［次へ］をクリックする



・画面のIPアドレス欄にAPIPAと表示された場合は、［IPアドレス設定］をクリックし、お使いのネットワーク上での本製品のIPアドレスを入力します。
・同じモデル名が2つ以上ある場合は、IPアドレスから使用する本製品を選択します。IP アドレスを調べるときは「ネットワーク設定リスト」を印刷します。印刷方法は「ネットワーク設定リストの出力」P.12 を参照してください。

注 意

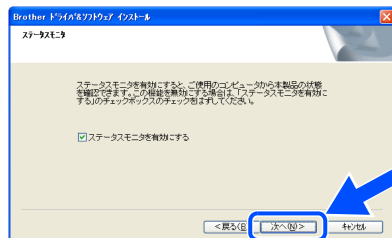
■以下の画面が表示されたときは、記載内容を確認し、［はい］をクリックして再度検索を行います。



■それでも検索されない場合は、［いいえ］をクリックし、表示される画面の指示にしたがって、IPアドレスなどを設定してください。

■「インストール時、ネットワーク上に 本製品が見つからない」P.16 もご覧ください。

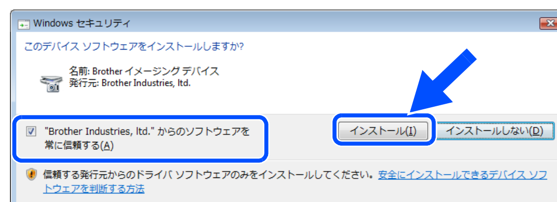
13 ステータスモニターを無効にする場合は、チェックを外し［次へ］をクリックする



・ドライバとソフトウェアのインストールが始まります。
・このとき、ウィンドウが何度も開く場合がありますが、次のユーザー登録画面が表示されるまで、そのまましばらくおまちください。

補 足

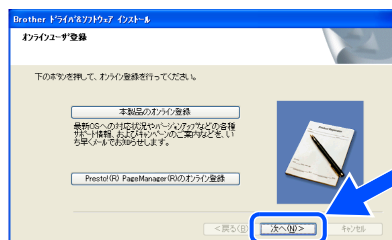
Windows Vista®をお使いの場合、以下の画面が表示されたら、［"Brother Industries, ltd."からのソフトウェアを常に信頼する］を選択し、インストールを完了させてください。



14 ユーザー登録をする

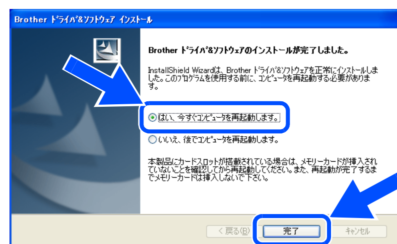
［本製品のオンライン登録］や［Presto!(R) PageManager(R) のオンライン登録］をクリックして、ユーザー登録を行います。登録終了後や、後でユーザー登録をする場合は次の手順に進みます。

15 ユーザー登録が終わったら［次へ］をクリックする



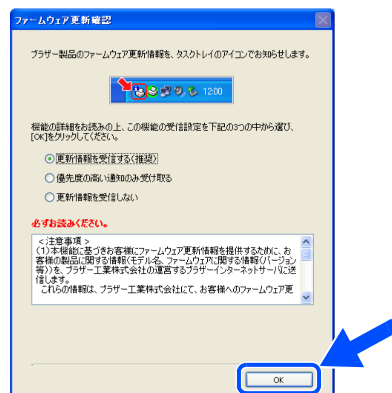
☞次ページへ続く

16 [はい] を選択して [完了] をクリックする



コンピュータが再起動しますので、引き続き次の手順へお進みください。

17 次の画面が表示されたときは、ファームウェア更新確認の受信設定をし [OK] をクリックする



OK! [ドライバ & ソフトウェア] のインストールが完了しました。

注意

インストール完了後、印刷やその他の機能をご使用になるときに、セキュリティ許可を促す画面が表示されることがあります。この場合も許可してください。

補足

「XML Paper Specification プリンタドライバ」のご案内

XML Paper Specification プリンタドライバは、XML Paper Specification 文書をプリントするのに適した Windows Vista®専用のプリンタドライバです。

サポートサイト(ブラザーソリューションセンター(http://solutions.brother.co.jp/))からダウンロードできます。

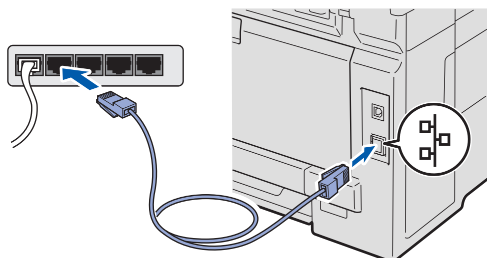
Macintoshの場合

起動しているアプリケーションがある場合は、すべて終了してからインストールを始めてください。Windows®の場合は、「Windows®の場合」P.5 を参照してください。

1 本製品の電源スイッチをONにする

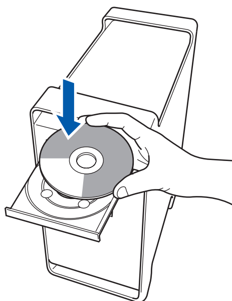


2 本製品とルータ、またはブロードバンドルータをLANケーブルで接続する



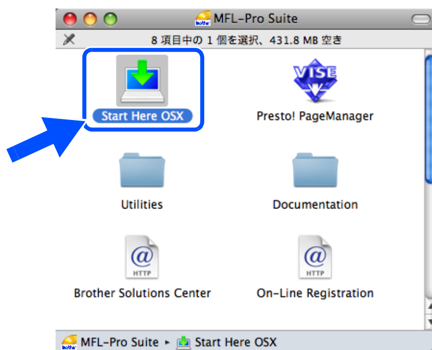
3 Macintoshの電源を入れる

4 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

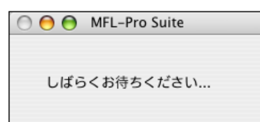


5 [Start Here OSX] をダブルクリックする

- 画面の指示に従って、インストールを進めてください。インストールが終わると、Macintosh の再起動を指示する画面が表示されます。[再起動] をクリックしてください。



6 ソフトウェアが本製品を自動的に検索する



7 本製品を選んで、[OK] をクリックする

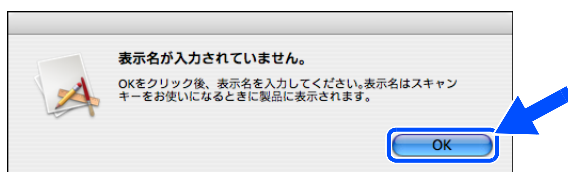


同じモデル名が2つ以上ある場合は、表示される製品名の後ろにMACアドレス（イーサネットアドレス）が表示されます。MACアドレスをもとに本製品を選択します。

☞次ページへ続く

補足

- 以下の画面が表示されたときは、［OK］をクリックして表示名を入力してください。



- 「パソコンを本製品のスキャンキーへ登録」にチェックを入れて、表示名を入力します。
- 表示名は15文字以内で入力します。入力した内容がスキャンキー使用時に本製品の液晶ディスプレイに表示されます。



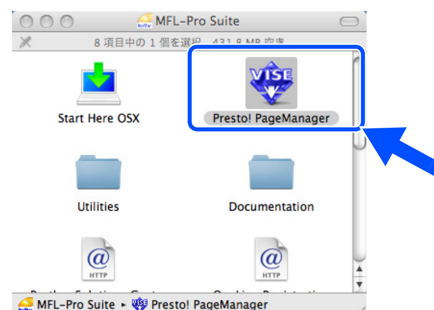
- スキャンした原稿データを Macintosh に保存するとき、パスワードを入力しないと保存できないように設定できます。
  「パスワードによりパソコンへのアクセス制限を有効にする」をオンにして、4桁の数字をパスワードとして登録します。

8 確認画面で［OK］をクリックする



9 ［Presto! PageManager］をダブルクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。



Presto! PageManagerがインストールされます。

補足

Presto! PageManagerをインストールすると、ControlCenter2にOCR機能が追加されます。

OK! **インストールが完了しました。**

ネットワーク設定の確認と初期化

ウェブブラウザで管理する

本製品をネットワーク接続で使用している場合、本製品に内蔵されているHTTPサーバを使用して、ウェブブラウザから設定を確認、変更することができます。

補足

●お買い上げ時はユーザー名は「admin」、パスワードは「access」に設定されています。

●ウェブブラウザで管理を行うためには、本製品の IP アドレスを確認する必要があります。IPアドレスの確認方法は、ネットワーク設定リストを印刷する P.12、または「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

●対応しているウェブブラウザは次のとおりです。
Windows®の場合
Microsoft® Internet Explorer® 6.0以降（JavaScript有効・Cookie有効）
Mozilla Firefox1.0以降（JavaScript有効・Cookie有効）
Macintoshの場合
Safari1.3以降

1 ウェブブラウザを起動する

2 アドレス入力欄にhttp://XXXXXを入力する

- XXXXXは本製品のIPアドレスです。
- IPアドレスは、「ネットワーク設定リスト」で確認できます。印刷方法は、「ネットワーク設定リストの出力」P.12 を参照してください。



補足

ウェブブラウザを使った管理方法については、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

ネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻す（ネットワーク設定リセット）

現在のネットワーク設定をすべて初期化できます。初期化すると本製品は自動的に再起動します。

補足

この設定では、IPアドレスやメールアドレスなどすでに設定されているネットワークのすべての情報を初期化します。「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

1 DCP-9010CNはメニュー 4 GHI 0 を押す

MFC-9120CNはメニュー 5 JKL 0 を押す

2 1 を押す

2 ABC で設定メニューへ戻ります。

ネットワーク設定リセット
1. 決定 2. キャンセル

3 1 を押す

再起動しますか?
1. はい 2. いいえ

- 数秒後に本製品が再起動します。
- 2 ABC で設定メニューへ戻ります。

ネットワーク設定リストの出力

現在のネットワークに関する設定内容を印刷できます。

DCP-9010CNの場合

1 メニュー 5 JKL 4 GHI を押す

2 「スタートボタンを押してください」と表示されたら スタート モノクロ または カラー スタート を押す

ネットワーク設定リストが印刷されます。

MFC-9120CNの場合

1 レポート を押す

2 ▲ または ▼ で「ネットワーク設定リスト」を選択し、OK を押す

ネットワーク設定リストが印刷されます。

ネットワークユーティリティ

BRAdmin Lightは、ネットワークに接続されたブラザー製品を設定するユーティリティソフトです。
ネットワーク上のブラザー製品の検索やステータス表示、IPアドレスなどのネットワークの基本設定が行えます。
Mac OS Xを使用している場合は、ドライバをインストールするとBRAdmin Lightも同時にインストールされます。

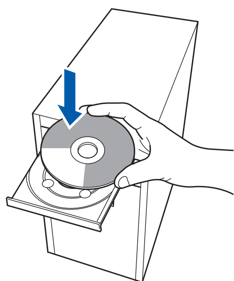
Windows®でBRAdmin Lightを使う

Windows® では、付属の CD-ROM から BRAdmin Lightをインストールします。

インストールする

1 CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入する

自動的に初期画面が現れます。画面の指示に従って操作してください。



2 ［ネットワークユーティリティ］をクリックする

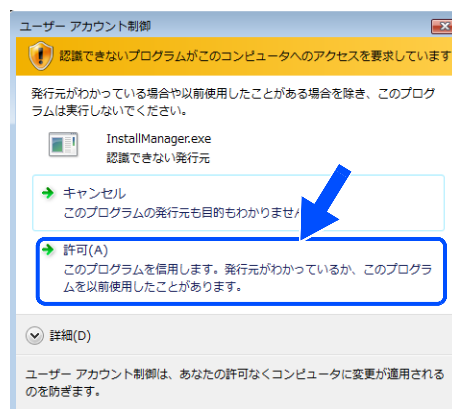


3 ［BRAdmin Light］をクリックする

- 画面の指示に従って、インストールを進めてください。



- Windows Vista® で「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、［許可］を選択します。

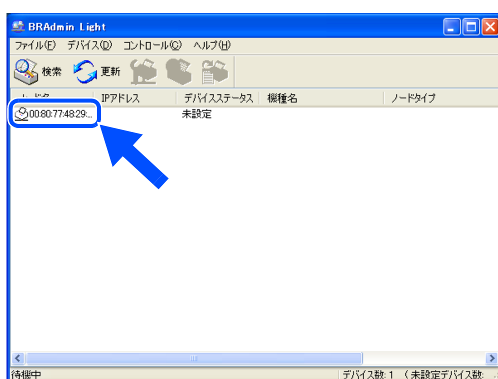


BRAdmin Lightでネットワークの設定をする

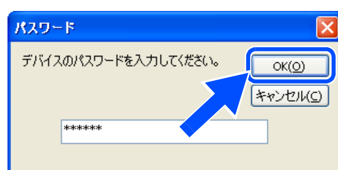
1 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［BRAdmin Light］－［BRAdmin Light］を選ぶ

BRAdmin Lightが起動し、新しいデバイスを自動的に検索します。

2 設定する機器をダブルクリックして選ぶ



パスワードの入力画面が表示されたときは、パスワードを入力して［OK］をクリックします。

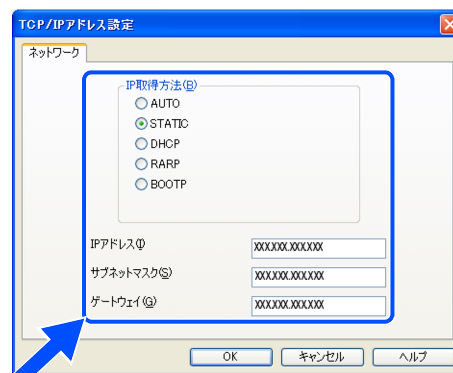


補足

● お買い上げ時のパスワードは「access」に設定されています。

● パスワードは BRAdmin Light で変更することができます。

3 ［ネットワーク］タブを選択し、［IP 取得方法］、［IPアドレス］、［サブネットマスク］、［ゲートウェイ］を設定する



4 ［OK］をクリックする

ネットワークの設定が本製品に保存されます。

注意

Windows®で「インターネット接続ファイアウォール」が有効に設定されている場合は、BRAdmin Lightの自動検索機能を利用できません。利用する場合は、ファイアウォールの機能を無効にしてください。詳しくは、「セキュリティソフトウェアについて」P.18を参照してください。

補足

BRAdmin Light を使ってネットワークを設定する方法については、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

MacintoshでBRAdmin Lightを使う

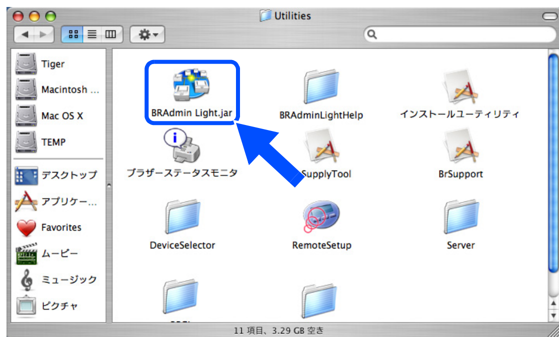
BRAdmin Lightはドライバをインストールしたときに同時にインストールされています。

補足

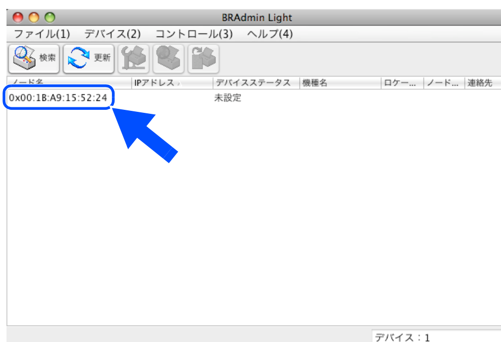
- 本製品のIPアドレスは、ネットワーク上のDHCPサーバで自動で設定されます。自動で設定されない場合は、以下の手順に従ってBRAdmin Lightを使用して本製品のIPアドレスを設定してください。詳しくは、「画面で見るマニュアル（HTML 形式）」を参照してください。
- バージョン1.4.2以降のJavaがインストールされている必要があります。

1 **デスクトップ上の［Macintosh HD］から、［ライブラリ］－［Printers］－［Brother］－［Utilities］－［BRAdmin Light.jar］の順に選ぶ**

BRAdmin Lightが起動し、新しいデバイスを自動的に検索します。



2 **新しいデバイスをダブルクリックする**

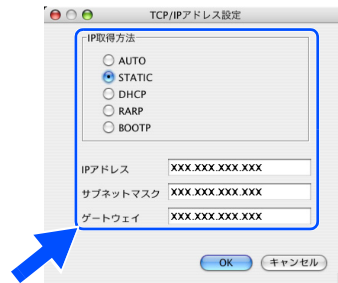


パスワードの入力画面が表示されたときは、パスワードを入力して［OK］をクリックします。

補足

- お買い上げ時のパスワードは「access」に設定されています。
- パスワードはBRAdmin Lightで変更することができます。

3 **［IP取得方法］から［STATIC］を選択し、［IP アドレス］、［サブネットマスク］、［ゲートウェイ］を設定する**



4 **［OK］をクリックする**

ネットワークの設定が本製品に保存されます。

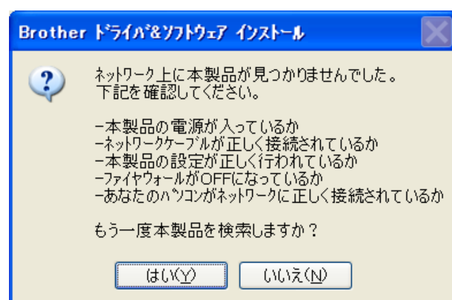
困ったときは（トラブル対処方法）

ネットワークに関するトラブルが発生したときの対応方法について説明しています。
該当する問題のページをご覧ください。

インストール時、ネットワーク上に本製品が見つからない P.16
印刷/スキャンできない P.16

ネットワークを確認するには
ネットワーク機器に問題がないか調べるには P.17
セキュリティソフトウェアについて P.18
ネットワークの設定がうまくいかないときは P.18

インストール時、ネットワーク上に本製品が見つからない



以下を確認してください。

1 **お使いのコンピュータから本製品までの接続機器が正常に稼動しているか確認する**

「ネットワーク機器に問題がないか調べるには」P.17

2 **セキュリティソフトによってブロックされていないか確認する**

「セキュリティソフトウェアについて」P.18

3 **設定しているネットワーク情報（IPアドレス）に誤りがないか確認する**

「ネットワークの設定がうまくいかないときは」P.18

印刷/スキャンできない

以下を確認してください。

1 **お使いのコンピュータから本製品までの接続機器が正常に稼動しているか確認する**

「ネットワーク機器に問題がないか調べるには」P.17

2 **セキュリティソフトによってブロックされていないか確認する**

「セキュリティソフトウェアについて」P.18

3 **設定しているネットワーク情報（IPアドレス）に誤りがないか確認する**

「ネットワークの設定がうまくいかないときは」P.18

4 **ルータやスイッチングハブの電源を入れなおす**

頻繁に接続しなおしたり、接続している製品のIPアドレスを繰り返し変更した直後には、IPアドレス設定に間違いがなくても正常に動作しない可能性があります。ルータやハブ（HUB）の電源を入れなおしてください。

5 古い印刷ジョブを削除する

印刷に失敗した古いデータが残っていると印刷できない場合があります。
プリンタフォルダ内のプリンタアイコンをダブルクリックし、［プリンタ］メニューから［すべてのドキュメントの取り消し］を行ってください。

プリンタフォルダの表示方法
<Windows Vista®>
［スタート］－［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］－［プリンタ］の順にクリックします。
<Windows® XP>
［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタとFAX］の順にクリックします。
<Windows® 2000>
［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックします。

補足

●問題が解決できなかった場合は、一度ドライバとソフトウェアをアンインストールして、かんたん設置ガイドに従って再度インストールすることをおすすめします。

●アンインストール方法（Windows®の場合）

［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［MFC-9120CN］（または［DCP-9010CN］）を選び、［アンインストール］をクリックします。画面の指示に従ってください。

ネットワーク機器に問題がないか調べるには

お使いのコンピュータから本製品までの接続機器が正常に稼動しているか、以下を確認してください。

- **本製品の電源は入っていますか？**
  電源を入れて、印刷できる状態であることを確認します。エラーが出ている場合は、ユーザーズガイド 基本編の「こんなときは」を参照してエラーを解除してください。

- **ハブ（HUB）またはルータなどのLAN ポートにコンピュータと本製品が正しく接続されていますか？**
  - 接続されていない場合は正しく接続しなおしてください。
  - ストレートケーブル以外は使用しないでください。
  - 他のケーブルで接続しなおしてください。

- **ルータ / ハブ（HUB）のリンクランプが点灯 / 点滅していますか？**
  一般的に、ルータ/ハブ（HUB）には接続状態を示すリンクランプがあり、点灯/点滅で接続状態を確認できます。
  点灯/点滅していない場合には
  ・ほかのLAN ポートに接続しなおす
  ・ほかのLAN ケーブルに差し換える
  ことで改善されるかお試しください。
  それでも点灯/点滅しない場合は、ハブ（HUB）または、ルータのメーカーにご相談ください。

セキュリティソフトウェアについて

インストール

市販のセキュリティソフトでパーソナルファイアウォール機能が有効に設定されていると、インストール中にセキュリティの許可を促す画面が表示されることがあります。この場合は許可をしてください。

注意

セキュリティ許可を促す画面で、拒否をするとインストールが完了できないことがあります。この場合は、一時的にセキュリティソフトを停止し、ドライバのインストールをやり直してください。

印刷やその他の機能をご利用になるとき

インストール完了後、印刷やその他の機能をご使用になるときに、セキュリティ許可を促す画面が表示されることがあります。この場合も許可してください。拒否をした場合、セキュリティの解除方法については、お使いのセキュリティソフトの取扱説明書をご確認いただくか、またはセキュリティソフト提供元にお問い合わせください。

本機のネットワーク機能をご利用になるとき

以下の機能をご利用いただく場合は、セキュリティソフトのファイアウォール設定を行う必要があります。

- **ネットワークスキャン**
- **ネットワークPCファクス受信（MFC-9120CNのみ）**

それぞれのセキュリティソフトの設定で、下記のポート番号を追加してください。
ポート番号の追加方法は、お使いのセキュリティソフトの取扱説明書をご確認いただくか、またはセキュリティソフト提供元にお問い合わせください。

機能	名称※	ポート番号	プロトコル (TCP/UDP)
ネットワークスキャン	例) Brother NetScan	54925	UDP
ネットワークPCファクス受信 (MFC-9120CNのみ)	例) Brother PC-FAX RX	54926	UDP

※名称は任意です。

ネットワークの設定がうまくいかないときは

設定しているネットワーク情報（IP アドレスおよびサブネットマスク）に誤りがないかどうかを確認します。
お使いのコンピュータと本製品の IP アドレスおよびサブネットマスクを以下の手順で確認します。

1. コンピュータのネットワーク情報を調べる

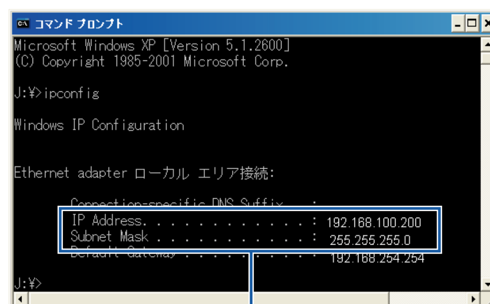
Windows®の場合

1 **［スタート］メニューから［プログラム］-［アクセサリ］を選び、［コマンドプロンプト］をクリックする**

2 **「ipconfig」と入力し、Enterキーを押す**

3 **「IP Address（IPアドレス）」と「Subnet Mask（サブネットマスク）」の行を確認し、値を記入する**

例）画面はWindows® XPです。
Windows Vista®の場合は、IPv4 Address、IPv6 Addressの両方が表示されます。



ここを調べる

（A）コンピュータ側記入欄

IP Address (IPアドレス)	.	.	.	
Subnet Mask (サブネットマスク)	.	.	.	

4 「Subnet Mask（サブネットマスク）」の値を確認する

Subnet Mask（サブネットマスク）	255.	255.	255.	0

上記のように「255.255.255.0」であることを確認してください。
「255.255.255.0」以外の場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

5 「exit」と入力し、Enterキーを押して終了する

Mac OS X 10.3.9～10.4.xの場合

1 画面左上の［アップルマーク］をクリックする

2 ［システム環境設定］-［ネットワーク］をクリックする

3 ［設定］-［TCP/IP］をクリックする

4 「IP アドレス」と「サブネットマスク」を確認し、値を記入する

ネットワーク設定画面で［手入力］に設定していない場合は、表示されないことがあります。

IP Address（IPアドレス）	.	.	.	
Subnet Mask（サブネットマスク）	.	.	.	

5 「Subnet Mask（サブネットマスク）」の値を確認する

Subnet Mask（サブネットマスク）	255.	255.	255.	0

上記のように「255.255.255.0」であることを確認してください。
「255.255.255.0」以外の場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

Mac OS X 10.5.xの場合

1 画面左上の［アップルマーク］をクリックする

2 ［システム環境設定］-［ネットワーク］をクリックする

3 ［詳細］-［TCP/IP］をクリックする

4 「IPv4アドレス（IPアドレス）」と「サブネットマスク」を確認し、値を記入する

IP Address（IPアドレス）	.	.	.	
Subnet Mask（サブネットマスク）	.	.	.	

5 「Subnet Mask（サブネットマスク）」の値を確認する

Subnet Mask（サブネットマスク）	255.	255.	255.	0

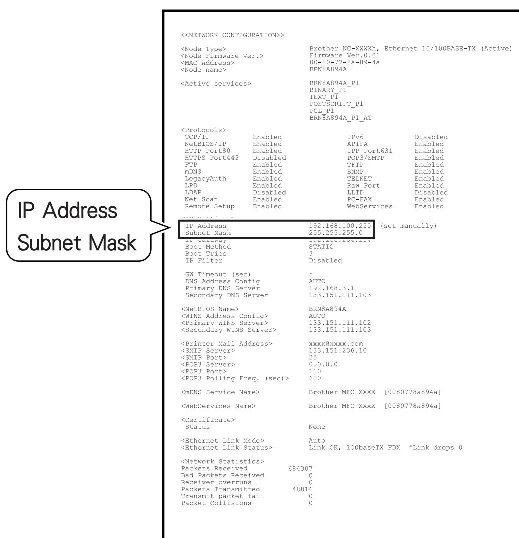
上記のように「255.255.255.0」であることを確認してください。
「255.255.255.0」以外の場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

2. 本製品のネットワーク情報を調べる

1 ネットワーク設定リストを印刷する

「ネットワーク設定リストの出力」P.12

2 「IP Address（IPアドレス）」と「Subnet Mask（サブネットマスク）」の行を確認し、値を記入する




```
<<NETWORK CONFIGURATION>>

<Node Type>                    Brother NC-XXXXh, Ethernet 10/100BASE-TX (Active)
<Node Firmware Ver.>           Firmware Ver.0.01
<MAC Address>                  00-80-77-8a-89-4a
<Node name>                    BRN8A894A

<Active services>              BRN8A894A_P1
                               BINARY_P1
                               TEXT_P1
                               POSTSCRIPT_P1
                               PCL_P1
                               BRN8A894A_P1_AT

<Protocols>
 TCP/IP          Enabled            IPv6           Disabled
 NetBIOS/IP      Enabled            APIPA          Enabled
 HTTP Port80     Enabled            IPP Port631    Enabled
 HTTPS Port443   Disabled           POP3/SMTP      Enabled
 FTP             Enabled            TFTP           Enabled
 mDNS            Enabled            SNMP           Enabled
 LegacyAuth      Enabled            TELNET         Enabled
 LPD             Enabled            Raw Port       Enabled
 LDAP            Disabled           LLTD           Disabled
 Net Scan        Enabled            PC-FAX         Enabled
 Remote Setup    Enabled            WebServices    Enabled

 IP Address                    192.168.100.250  (set manually)
 Subnet Mask                   255.255.255.0
 Boot Method                   STATIC
 Boot Tries                    3
 IP Filter                     Disabled

 GW Timeout (sec)              5
 DNS Address Config            AUTO
 Primary DNS Server            192.168.3.1
 Secondary DNS Server          133.151.111.103

<NetBIOS Name>                 BRN8A894A
<WINS Address Config>          AUTO
<Primary WINS Server>          133.151.111.102
<Secondary WINS Server>        133.151.111.103

<Printer Mail Address>         xxxx@xxxx.com
<SMTP Server>                  133.151.236.10
<SMTP Port>                    25
<POP3 Server>                  0.0.0.0
<POP3 Port>                    110
<POP3 Polling Freq. (sec)>     600

<mDNS Service Name>            Brother MFC-XXXX  [0080778a894a]

<WebServices Name>             Brother MFC-XXXX  [0080778a894a]

<Certificate>
 Status                        None

<Ethernet Link Mode>           Auto
<Ethernet Link Status>         Link OK, 100baseTX FDX  #Link drops=0

<Network Statistics>
Packets Received             684307
Bad Packets Received              0
Receiver overruns                 0
Packets Transmitted           48816
Transmit packet fail              0
Packet Collisions                 0
```

（B）本製品側記入欄

IP Address（IPアドレス）	.	.	.	
Subnet Mask（サブネットマスク）	.	.	.	

3. コンピュータのIPアドレスと本製品のIPアドレスを比較する

「1 コンピュータのネットワーク情報を調べる」P.18で書き留めた（A）の値と、「2 本製品のネットワーク情報を調べる」P.20で書き留めた（B）の値を比較します。

（A）コンピュータ側

IP Address（IP アドレス）	XXX.　XXX.　XXX.	XXX

（B）本製品側

IP Address（IP アドレス）	XXX.　XXX.　XXX.	XXX

1 （A）と（B）の太枠の部分が同じであることを確認する

例）サブネットマスクの値が［255.255.255.0］の場合

（A）コンピュータ側

IP Address（IP アドレス）	192.　168.　123.	011

（B）本製品側

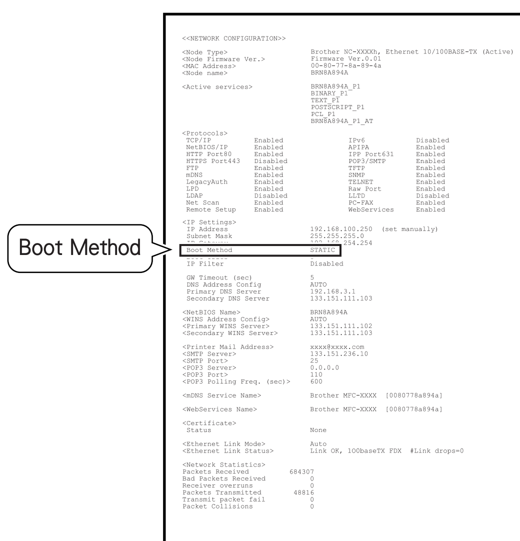
IP Address（IP アドレス）	192.　168.　123.	250

2 手順1の表の灰色の部分の値が、（A）と（B）で異なることを確認する

3 手順 1 の表の灰色の部分の値が、2～254の範囲内であることを確認する

4. 本製品のIPアドレス取得方法を確認する

「2 本製品のネットワーク情報を調べる」P.20 で印刷したネットワーク設定リストの、「Boot Method」の項目を確認します。



```
<<NETWORK CONFIGURATION>>

<Node Type>                   Brother NC-XXXXh, Ethernet 10/100BASE-TX (Active)
<Node Firmware Ver.>          Firmware Ver.0.01
<MAC Address>                 00-80-77-8a-89-4a
<Node name>                   BRN8A894A

<Active services>             BRN8A894A_P1
                              BINARY_P1
                              TEXT_P1
                              POSTSCRIPT_P1
                              PCL_P1
                              BRN8A894A_P1_AT

<Protocols>
 TCP/IP          Enabled          IPv6          Disabled
 NetBIOS/IP      Enabled          APIPA         Enabled
 HTTP Port80     Enabled          IPP Port631   Enabled
 HTTPS Port443   Disabled         POP3/SMTP     Enabled
 FTP             Enabled          TFTP          Enabled
 mDNS            Enabled          SNMP          Enabled
 LegacyAuth      Enabled          TELNET        Enabled
 LPD             Enabled          Raw Port      Enabled
 LDAP            Disabled         LLTD          Disabled
 Net Scan        Enabled          PC-FAX        Enabled
 Remote Setup    Enabled          WebServices   Enabled

<IP Settings>
 IP Address                   192.168.100.250  (set manually)
 Subnet Mask                  255.255.255.0
 Boot Method                  STATIC
 IP Filter                    Disabled

 GW Timeout (sec)             5
 DNS Address Config           AUTO
 Primary DNS Server           192.168.3.1
 Secondary DNS Server         133.151.111.103

<NetBIOS Name>                BRN8A894A
<WINS Address Config>         AUTO
<Primary WINS Server>         133.151.111.102
<Secondary WINS Server>       133.151.111.103

<Printer Mail Address>        xxxx@xxxx.com
<SMTP Server>                 133.151.236.10
<SMTP Port>                   25
<POP3 Server>                 0.0.0.0
<POP3 Port>                   110
<POP3 Polling Freq. (sec)>    600

<mDNS Service Name>           Brother MFC-XXXX  [0080778a894a]

<WebServices Name>            Brother MFC-XXXX  [0080778a894a]

<Certificate>
 Status                       None

<Ethernet Link Mode>          Auto
<Ethernet Link Status>        Link OK, 100baseTX FDX  #Link drops=0

<Network Statistics>
Packets Received         684307
Bad Packets Received          0
Receiver overruns             0
Packets Transmitted       48816
Transmit packet fail          0
Packet Collisions             0
```


- 「Boot Method」が「AUTO」の場合
  本製品をコンピュータと同じルータやハブに接続し、本製品の電源を入れなおしてください。それでも改善されない場合は、以下の『「Boot Method」が「STATIC」の場合』を参照して手動で設定してください。
- 「Boot Method」が「STATIC」の場合
  本製品の IP アドレスを以下のように設定してください。

IP Address (IP アドレス)	XXX.	XXX.	XXX.	XXX

太枠内
「1 コンピュータのネットワーク情報を調べる」P.18 の（A）と同じ値を設定してください。
上記表の灰色の部分
ネットワークに参加しているすべてのコンピュータと異なる、2～254の値を設定してください。この場合、他の機器と同じ IP アドレスにならないように、200～250の範囲内でIP アドレスを選択することをおすすめします。（例えば、本製品の IP アドレス を 192.168.123.250 に割り当てます。）詳しくは、お使いのルータの取扱説明書をご確認いただくか、またはルータ提供元にお問い合わせください。

補足

本製品のIPアドレス設定方法

(1) DCP-9010CNはメニュー 4 GHI 1 2 ABC を押す
MFC-9120CNはメニュー 5 JKL 1 2 ABC を押す
(2) IPアドレスを入力しOKを押す
設定済みの場合は、「変更しますか 1. はい 2. いいえ」と表示されます。1を押してください。
(3) IPアドレスを入力する
(4) 停止/終了を押す

5. ドライバの再インストールをする

現在の設定を有効にするために、ドライバのインストールを行います。既にインストールが完了している場合は、アンインストールが必要です。

補足

Macintoshの場合は、アンインストールは不要です。

アンインストール方法
［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［MFC-9120CN］（または［DCP-9010CN］）を選び、［アンインストール］をクリックします。
あとの操作は画面の指示に従ってください。

用語集

●ゲートウェイ

ネットワークの「出入り口」の役割を果たすルータなどの機器を指します。一般家庭ではインターネットへの出入り口になります。

●サブネットマスク

IPアドレスの中で、どこまでがネットワーク全体のアドレスで、どこからがホスト（コンピュータ、プリンタなどのネットワーク機器）用のアドレスかを識別するために使われています。

補足

通常は、クラスCと呼ばれる「255.255.255.0」の値でご利用ください（多くのアクセスポイントの初期値）。なお、DHCPサーバで自動割付されている場合は意識せず利用できます。

●ルータ

ネットワーク同士を相互接続するときに使用する機器です。
ブロードバンドルータを使用してインターネットに接続をしている場合は、ルータがゲートウェイの役割をしています。

補足

ルータに無線機能が付くと無線LANアクセスポイントとも呼ばれます。つまり、機能を指して呼び方が変わることがありますので、混乱しないようにしてください。

●DHCP（ディーエイチシーピー）

ネットワークへコンピュータやプリンタを接続するときに便利な機能です。
現在普及しているネットワークでは、接続されたコンピュータやプリンタなどのIPアドレスを決める際、重複がないように管理する必要があります。他にも設定すべき項目があり、新しい機器をネットワークに接続するのは大変な作業になります。しかしDHCPを使うと、このような設定が自動的に行われるようになります。

補足

最近のブロードバンドルータには最初からDHCP機能が組み込まれています。また、CATV経由でインターネット接続するときに使うケーブルモデムにもDHCP機能が付いていることがあります。このような場合は、特に複雑な設定をしなくてもDHCPの機能を利用できます。但し、複数のルータを接続するような場合は、1台だけDHCP機能を有効にして、他は無効にする必要があります。

●IPアドレス（アイピーアドレス）

インターネットやネットワークに接続されたコンピュータやネットワーク機器を識別するために割り振るアドレス（住所）の数字です。
「192.168.0.10」などのように、ピリオドで4つに区切られた数字で表現する IPv4という方式が普及しています。

補足

電源を切っていたりして、IPアドレスをしばらくの間自動取得していない場合、IPアドレスが再度割り振りされて変わってしまうことがあります。本製品は固定IPアドレスで使用することをお奨めします。

●IPv6（アイピーブイシックス）

インターネットプロトコル IPv4 をベースに、管理できるアドレス空間の増大、セキュリティ機能の追加などの改良を施した次世代インターネットプロトコルです。
IPv6ではIPv4の4倍のアドレスの長さとなり、提供されるアドレス空間はIPv4の2の96乗倍という広大さとなります。従って、IPアドレスの数が事実上無限に増えるため、冷蔵庫や自動車など、様々な機器にIPアドレスを割り当てることができるようになります。セキュリティ機能の強化や、モバイルへの親和性など、様々な分野から応用が期待されており、情報家電などあらゆるものがインターネットにつながる時代には必須な技術と言われています。

●MACアドレス（マックアドレス）

ネットワーク機器に登録されている機器固有の名前です。Ethernet Address（イーサネットアドレス）とも呼ばれています。
全てのネットワーク機器に、それぞれ異なるMACアドレスが与えられています。

補足

本製品では、ネットワーク設定リストを印刷してMACアドレスを確認してください。
「ネットワーク設定リストの出力」P.12

●MACアドレスフィルタリング（マックアドレスフィルタリング）

アクセスポイントやルータのセキュリティ機能です。
あらかじめアクセスポイントにネットワーク機器のMACアドレスを登録しておき、その登録した機器にしか通信を許可しません。

補足

登録していない不明な機器からの不正侵入をブロックすることができます。よって、この機能が有効になっているルータへ接続する場合、本製品のMACアドレスをルータに登録しておく必要があります。

●TCP/IP（ティーシーピーアイピー）

インターネットなどのネットワーク通信で広く使われているプロトコル（コンピュータ同士が通信するために使う共通の言葉）です。

仕　様

有線LAN

項目	内容	
モデル名	NC-6700h type2	
対応 OS	Windows® 2000 Professional/XP および Windows Vista®、Windows Server® 2003/2003 X64 Edition/2008 Mac OS X 10.3.9 以降	
ネットワーク	10/100 BASE-TX	
プロトコル	IPv4	ARP、RARP、BOOTP、DHCP、APIPA（Auto IP）、WINS/NetBIOS name resolution、DNS resolver、mDNS、LLMNR responder、LPR/LPD、Custom Raw Port/Port 9100、IPP/IPPS、FTP server、FTP client、POP before SMTP、SMTP-AUTH、APOP、TELNET Server、SNMPv1/v2c/v3、HTTP/HTTPS server、TFTP client and server、SMTP Client、ICMP、WebServicesPrint、SNTP、CIFS Client、SSL/TLS、LLTD responder
	IPv6	(Turned off as default) NDP、RA、DNS resolver、mDNS、LLMNR responder、LPR/LPD、Custom Raw Port/Port 9100、IPP/IPPS、FTP server、FTP client、POP before SMTP、SMTP-AUTH、APOP、TELNET Server、SNMPv1/v2c/v3、HTTP/HTTPS server、TFTP client and server、SMTP Client、ICMPv6、WebServicesPrint、SNTP、CIFS Client、SSL/TLS、LLTD responder

商標について

本文中では、OS名称を略記しています。
Windows® 2000 Professionalの正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemです。
Windows® XPの正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemおよびMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating system です。
Windows® XP Professional x64 の正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition operating systemです。
Windows Server® 2003の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2003 operating systemです。
Windows Server® 2003 x64 Edition の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2003 x64 Edition operating systemです。
Windows Server® 2008の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2008 operating systemです。
Windows Vista® の正式名称は、Microsoft® Windows Vista® operating systemです。
Microsoft、Windows、Windows Server、Internet Explorer、Outlookは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国、日本および/またはその他の国における登録商標または商標です。
Apple、Macintosh、Mac OS、Safariは、Apple Inc.の登録商標です。
本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。海外での各国の通信規格に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品に適切ではない恐れがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。
This machine is made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas it may violate the Telecommunications Regulations that country and the power requirements of your machine may not be compatible with the Power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

●お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保管してください。
●本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後5年です。